

きびしさで
やさしさで

育てる明るい子ども

(2号)

新津市生徒指導推進地区運営委員会



先生さようなら

「四つのあいさつ」で強力に推進

「うちで家族が朝最初に顔を合わせたとき「おはよう」「おはようございませう」のあいさつが交わされているでしょうか。

今年度は学校を中核として、家庭や社会に「あいさつ」の輪を広げることになりました。

特に強調する「あいさつ」ことは、次の四語とす、

あいさつ運動の展開

元気であいさつ 明るい生活!!

本年度重点推進事項

ることになりました。

○おはようございませう

(おはよう)

○こんにちは

○さようなら

○おやすみなさい

(おやすみ)

学校では、教師と児童生徒間のあいさつはよいのですが、友だち同志のあいさつはあまり交わされていないようです。

非行や暴力のない明るい家庭・学校・社会づくりには、まずあいさつが

その第一歩でしょう。

最初のあいさつから、話し合いの回数が増え、相手の考えや性格、人柄などがだんだんよくわかり、お互いのきずなが強く太くなり、信頼感も生まれてきます。親子、師弟のみでなく、他のおとなとの間に信頼感があり、深い愛情があるなら

ば、児童生徒は暴力行為をしたり、非行化したりしないでしょう。

実践のための

具体的内容と方法

「あいさつ運動」の輪を広げるために、次の事項をおこないます。

一、「元気であいさつ明るい生活」と大書した横断幕を作り、市内各小中学校に二、三枚配布する。

○「広報にいつ」に簡単に見やすく、市民の、

生徒指導推進委員会が願っている趣旨は次のとおりです。

▼お互い「あいさつ」をかわすことにより、人間関係を深め、望ましい連帯意識を高め、明るく楽しい学校・家庭・社会づくりをする。

▼児童生徒の非行行動や暴力をなくし、心身共に健全な育成をはかる。

意識を高揚するような記事掲載。

○あいさつ運動の計画や実践状況を啓蒙資料として提供する。

二、学校では、毎月原則として第一週を「あいさつ運動週間」として指導にあたる。

三、児童会、生徒会活動の一つとして、自主的にあいさつ運動をとりあげる。

市民のみなさんの理解と協力をお願いします。